

## 八との距離感がちょうどい

B L U E MARBLE (ブルーマーブル) 瀬戸悠輔さん・岸田勇人さんせとゆうなけ

と瀬戸さん。 その自然環境を、デザイン・ 可能性がすごいと思うんです。 和歌山は自然のスケー 和歌山を選んだのは、むき出 開業されました。「移住先に ら、自然環境を守るために活 研究を続け、意気投合。デザ 然環境×デザインをテーマに 期から都市部の冷たさが苦手 に考え、大切にしていければ。」 山を移住先に決め、雑貨屋を 動したいという思いから和歌 で、自然のある場所を求めて しの自然に惹かれているから。 イン、アートの仕事をしなが いたそう。芸大在学中に、自 トを通じて皆さんと一緒 · ル 感、

<u>お</u>人。 我町で体験型の雑貨屋「BL 現されたのは、京都芸術大学 UE MARBLE」を営む を卒業し、2022年から糸 空き家というキャンバスに表 想的な矢櫃の魚と宇宙空間を 今回の表紙に登場した、幻

やってきたと思われるんじゃ そんな相談したら変なやつだ 紹介してくれました。都会で 相談に行ったらいろんな方を で焦っていましたが、役場に 場所もない、ないないばかり ない、人脈がない、集まれる 真っ只中。「人とのつながりが と思われてしまうかも(笑) 市部から来たから、よそ者が くてちょうどいい。最初は都 人と人との距離が近

大阪府·京都府出身。幼少

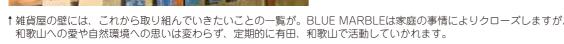
らすぐ友達になれました。」 きかったですが、喋ってみた ないか、受け入れてもらえな いんじゃないか、と不安が大

博物館のような二人の思い

移住してきたのはコロナ禍

活動していきたい。」 場所を作って、一緒に考えて が詰まった雑貨屋は、 摯に、熱く語ってくれました。 性とこれからのビジョンを、真 副業だそう。「人が集まれる 25歳の二人は、有田の可能 いわば





## ちょうどいい田舎有田市で暮らす



ちもいらっしゃいます。

その方たちがどうして有田

を感じて移り住んでくる方た

その一方で、有田市に魅力

35,683人をピークに減 有田市の人口は、昭和55年の 出が続いていることなどから、 学のために若者の市外への転

何を思い、暮らしているのか? 市を選んだのか?移住した今、

移住者の皆さんの言葉にヒン い有田市の魅力を知るうえで、 私たちが普段気づいていな

どう答えますか?

出生数の減少や、就学・進

そう聞かれたら、あなたは

どんなまちですか?」

「あなたにとって有田市って